

熟塾・伝統行事に学ぼう！講座 岸和田だんじり祭試験曳き（行事内容は本祭とほぼ同じ）を見学し岸和田祭の歴史や見所を学ぼう！

じぐるまめいしょひとりあない もりたあきら きしわだ まつりしけんび

「地車名所独案内」著者森田玲氏と巡る岸和田だんじり祭試験曳き



日時：**2012年 9月2日（日） 11時～17時**

講師：**「岸和田だんじり祭 地車名所独案内」著者・民の謡 代表 森田玲氏**

スケジュール：10時50分南海本線「岸和田」駅前集合

NHK「あさいちごはん」で紹介。「うおり」の女将の祖母はカーネーション・小篠綾子の妹さん（篠小家の次女）

11時～13時：創業60年・日本料理「うおり」にて森田氏より著書をテキストに見学コース解説後、

泉州名物の鰯井付の「はも御膳」の昼食

13時～16時：船津橋・欄干橋等でだんじりの試験曳き見学 &

商店街・カーネーションショップなどで買物

『だんじり饅頭』を味わいながら

16時～17時：「民の謡・大阪岸和田店」にて森田氏より「だんじり祭りの歴史と笛」について講話

会費：塾生4800円 ・ 一般5800円（地車名所独案内@2000円・鰯御膳・だんじり饅頭・解説・案内・講話付）



岸和田祭は岸和田城内に鎮座する岸城神社の例祭に伴う神賑行事であり、祇園祭や天神祭と同様に疫病退散の夏祭に起源を持ち、当初は獅子舞や太鼓台など、様々な練物が出ましたが、大坂の夏祭の影響を受け、次第に地車曳行に統一されました。現在では「やりまわし（高速の辻廻し）」が可能となる岸和田型と呼ばれる独特の形式の地車や、独特の囃子を発展させ「地車」と言えば「岸和田」と連想させる程に有名な祭



となっています。

特に、祭に関わる人々は自町の地車に強い誇りを持っており、その「町意識」は随所に色濃く反映されます。岸和田型と呼ばれる岸和田地域特有の「地車」、地車に施された精細で躍動感溢れる「彫物」、曳行を統御し曳き手を鼓舞する「鳴物」、豪快な「やりまわし」、大屋根に舞う「大工方」、揃いの「法被」等、あらゆる場面に各町の「こだわり」が表出されます。

このような各町の強烈な個性を集成し、町毎の地車や彫物の特徴、曳行方法や鳴物の工夫等を、多種多様な写真・図表を用いて詳述。さらに、祭が現在の形へと育まれてきた背景を探るべく、歴史的・文化的な事柄にも積極的に言及。岸和田城と城下の成立過程、神社における例祭式と神賑行事、名所の謂れ等を理解することで、より深い視点から祭を楽しめる「岸和田だんじり祭地車名所独案内」【総天然色（オールカラー）・192ページ（写真点数約500）】の著者が案内する試曳きの魅力・見所を本書を片手に巡る伝統行事鑑賞講座です。



森田玲（もりた・あきら）氏：

篠笛（横笛）奏者。篠笛の演奏・指導・製作・調査研究を行う株式会社「民の謡」（たみのうた）代表取締役。京都三条と岸和田にて店舗を構える。大阪府立岸和田高等学校卒業。京都大学農学部中退。後、再入学を果たし2012年に卒業。京都大学農学研究科（大学院）に進学。

篠笛民俗文化研究会会長。生き物文化誌学会、社叢学会、日本民俗音楽学会所属。

先着申込：30名様

「地車名所独案内」の著者森田玲氏と巡る岸和田だんじり祭試験曳き参加申込書

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：072-994-2856

お名前

ご住所

〒

TEL NO

E-mail

- 電話：072-994-2856（不在の場合は、留守電にお名前・ご住所・お電話番号を録音願います）
- 熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com)からもお申し込みいただけます。
- お申し込みいただくと、集合場所等を明記した参加証を郵送いたします。